



2019
07.31

西工 通信

Vol.1

夏号

西江通信

目次

1	西江通信刊行にあたって
2-3	現 場 だ よ り
4-5	E c o A c t i o n !
6	西江のこだわり仕事術
7-8	社 員 親 睦 イ ベ ン ト
9	+ P L U S N E W S !

1990年、西江建設では「西友通信」という社内報が誕生しました。以来、社員間のコミュニケーションをより良くするために活用されてきましたが、この度“社内外のコミュニケーションツール”として生まれ変わることとなりました。

「西江通信」——これが、西江建設の社報です。

普段から何気なく使われている“通信”という言葉ですが、そこには「**通い合って信頼を深める**」という意味があるのをご存じでしょうか。

私たち西江建設も、これを読んでくださっている皆様と信頼を深め合い、親しみを感じてもらいたい。そして西江建設という会社をもっとたくさんの人に知ってもらいたい。そんな想いを込めて、西江通信をお届けして参ります。

会社のこと、仕事のこと、働いている私たちのこと。なかなか知る機会のない西江建設について、様々な活動と一緒にご紹介していきます。今年は**年4回**の発行を予定しておりますので、たくさんの方々にご覧いただけたら幸いです。

現場だより

西江建設は日々、数多くの現場を手掛けています。それらの工事が担う役割や現状を詳しく解説。現場代理人から、リアルタイムな現場の声をお届けします。

工事名 : 28年災 ペケレベツ川災害復旧
助成工事3工区(補正)
施工場所 : 北海道上川郡清水町南5条西4丁目
施工期間 : H30.11.8~R1.10.30予定
発注者 : 十勝総合振興局 帯広建設管理部
請負者 : 西江建設株式会社
進捗率 : 64.5% (7月末時点)
現場職員 : 水上陽出明・馬淵和寛



平成28年8月30日~31日の台風10号の豪雨により、甚大な被害が発生した清水町のペケレベツ川において、河道の拡幅を行い護岸ブロックで川の法面を防護するとともに、川の流れる勾配を緩和するための落差工を設置する工事です。

西江建設が手掛けるペケレベツ川の災害復旧工事は、この現場で4工区目となります。

現場代理人

工事部工事課 主任

水上 陽出明

(H19年入社)



MIZUKAMI
HIDEAKI



地域住民の方に看板を使って説明中

平成28年災一級河川ペケレベツ川災害復旧助成事業について

【事業概要】

平成28年8月の台風10号豪雨により、十勝川水系ペケレベツ川(上川郡清水町)では、洪水により河岸欠壊とそれに伴う家屋の流出・浸水、町道橋・JR橋の被災等、甚大な被害が発生しました。
このため、災害復旧助成事業により、川幅を広げる河道拡幅や湾曲部の解消を行うとともに、河床の洗掘を防止する帯工及び勾配を緩和する落差工の設置や5箇所の橋梁の架換えを行うことで、洪水を安全に流下させ、再度災害の防止を図るものです。

○事業期間:平成28年度~平成32年度 ○事業概要:河道拡幅、護岸工、落差工、帯工、橋梁工等

◎平成28年災ペケレベツ川災害復旧助成工事3工区(補正)の概要

○河川土工、河川護岸プレキャスト法枠工、8号落差工、魚道工、根固めブロック工、河川仮設締切工等



ペケレベツ川の 名前の由来について

日高山脈にある標高1,532mのペケレベツ岳から清水町へと流れる川がペケレベツ川です。ペケレとはアイヌ語で「清い水」、ベツは川の意味であり、清水町という町名はアイヌ語のペケレが由来となっています。

【発注者】

十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張所
河東郡鹿追町南町1丁目54番地
代表番号0156-66-2301

【受注者】

西江建設株式会社
帯広市西4条北2丁目20番地
代表番号0155-25-9105

Q. 大変なこと、難しく感じることは

今回の現場の施工箇所は、すぐ近くに住宅街があります。

工事現場では、重機を使用したり工事車両が頻繁に走行する作業が多いため、音やほこりで近隣住民の方が不快な思いをしないよう、細心の注意を払う必要があります。



Q. 今の現場で目指すこと

無事故・無災害で工事を完了させること！そして、発注者や近隣住民との信頼関係を築き、「西江建設が施工したなら安心だな」と思われることを目指しています。

近隣住民の方に安心していただくために、工が始まる前には詳細を記載した「工事のお知らせ」（回覧板）を配布しました。

また発注者のところには積極的に顔を出すようにして、月に1回は担当課長のもとに挨拶へ行って現場の報告をしています。ペケレベツ川災害復旧工事 連絡協議会の会長も務めながら、信頼関係を築けるよう積極的に取り組んでいます。

Q. 危険作業の予防策

「重機が動く＝人と接触する」「高い所で作業する＝高い所から落ちる」など、どんな作業においても様々な危険を想定しながら行動します。高所作業では安全帯（ハーネス）を活用したり、接触事故を防ぐため人と重機のゾーニングをするなどの配慮をしています。

一番の予防策は、どんな些細な作業でも必ず危険が潜んでいると考えること。現場では積極的に声掛けを行い、スタッフ全員とコミュニケーションをとるよう心掛けています。



Q. 周りの人を見て思うこと

協力業者、現場に従事している作業員みんなが経験豊富で知識があると思っています。現場で頭を悩ませている新米代理人の私に、「心配すんな！」と言ってくれる先輩職員や直営作業員、協力業者の方々の言葉がいつも心強く感じます(^^)



Q. お休みの日、仕事の後の過ごし方

休みの日の朝はなるべく寝ていたい！…なのですが、幼稚園年長の息子はとにかく早起きなんです^^; しかもなぜかお母さんは起こさない！！最近は、子供の自転車練習が休みの日の日課です^^

仕事が終わった後は、家族でご飯を食べてソファでテレビを見ながらゆったりですかね～。そのままソファで寝てしまい気が付いたら朝ってこともしばしば^^;これがまた気持ちよく寝れるんです(笑)

ちょっと
こぼれ話



現場
だより

Eco Action!

西江建設は、社会資本整備を担う企業として地球環境保全について真剣に考え、日頃から様々な活動を行っています。ひとつひとつは小さなことかもしれませんが、地域住民の方々に呼びかけ、力を合わせながらコツコツ継続しています。そんな私たちの活動記録をご紹介します。





十勝川 河川清掃

○概 歴：2008年から開始
○実施日：4月27日（土）
○場 所：十勝川河川敷
○目 的：地域美化

■毎年恒例！ 広がるゴミ拾いの輪

西江建設の十勝川河川清掃は、2008年に行われた洞爺湖サミットをきっかけにスタートし、今年で11回目の開催となりました。

GWの初日にも関わらず、西江建設の職員40名に加え新十勝大橋町内会の皆様、(株)共成レンテム、共和コンクリート工業(株)、セイコーリース(株)、(株)鉄建、東和建设(株)、山田機械工業(株)の皆様にご参加いただき、総勢71名でゴミ拾いを行いました。

十勝大橋からすずらん大橋まで約2kmの区間を清掃し、家電やタイヤ、木材、パソコンモニターなどの大型ごみをはじめ、ペットボトル155個、ビニール袋89枚など、合計トラック4台分のごみが集まりました。



張り切りすぎて（茂みの）奥の方までゴミ拾いに行っていたら、皆消えていて神隠しにあった気分でした（汗）
業務課 野村亮太（H31年入社）



=西江のEco Action=

◇NPO法人十勝多自然ネットの運営 ◇札幌内川クリーンウォークへの参加 ◇十勝川河川清掃の運営・参加 ◇北海道景観づくりサポート企業への登録 ◇花壇の造成 ◇道路清掃の実施
◇太陽光発電システムの活用 ◇クール・ビズ、ウォーム・ビズの実施 ◇エコドライブの実践 ◇水生生物の生息環境に配慮した工法 ◇ノーカーデーの実施



妥協せず、とことん物事を追求する姿勢——人はそれを“こだわり”と呼びます。西江建設で働く職員は、一体どんなこだわりを持って仕事に臨んでいるのでしょうか。知られざる“仕事術”を徹底解剖します。

今回は…

事務ミス対策

についてご紹介します！

西江建設の今年度のISO※1品質目標のひとつに、「年間事務ミス“ゼロ”を目指す」という項目があります。これを達成すべく着手したのが“事務ミス根絶運動”、全職員参加型の取り組みです。

毎月新たな施策を展開し、事務ミス根絶に向けた運動を行っています。

※1 国際標準化機構の略称

事務ミス根絶運動！



第1弾は、卓上POPの配布を行いました。「二重にチェック」「集中力を保とう」「選ぼう優先順位」という3つのキーワードを三角錐型のPOPにデザイン。

デスクに置くと、いつも視界のどこかにこのPOPがちらちら。見るたびに事務ミス防止を意識できる仕組みになっています。

ちなみに…3つのキーワードが「に・し・え」のあいいうえお作文になっていることにはお気付きでしょうか？悲しいことに、社内ではほとんど気付いてもらえませんでした……。

第2弾の施策では、全職員から標語の公募を行いました。応募総数はなんと58作！予想を超える数の大作が集まり、大いに盛り上がりしました。

集まった作品の中から投票で上位3作を選出。考案者にはクオカードが授与されました！

入選作は社内に掲示し、朝礼にて唱和を行っています。



第1位 杉森さん

◇ 少しでも「あれ？」と思ったら ホウ・レン・ソウ

経理課 杉森作

◇ 再チェック 時間は増えるが ミスは減る

工事課 水上作

◇ ミス気付く 環境築き 活気付く

工事課 明河作



社員親睦 イベント

西江の社員はみんな仲良し！仕事中には見られない、ゆるゆる～な表情をのぞき見しちゃうコーナーです。

毎年、新入社員のお披露目会を兼ねて

4月

行っているボウリング大会。

まだまだ会社になれていない新入社員も、
ゲームを通して愉快的先輩社員と交流でき
だんだんと緊張がほぐれていった様子でした。

/// サイストライク!!!

/// サイボール!!!

ボウリング大会

十勝毎日新聞にも
掲載されました！



PHOTO by SEO SHINICHIRO

今年は、令和おじさんこと菅官房長官を
模した“令和号”で挑戦しました！
途中でキャプテンが溺れかけたり、
流木に激突したり、

小淵恵三さんに間違われたりなどの
ハプニングに見舞われながらも、なんとか
無事にゴール。平成生まれの乗組員

6名で奮闘しました！

7月



十勝川イカダ下り

社員親睦
イベント

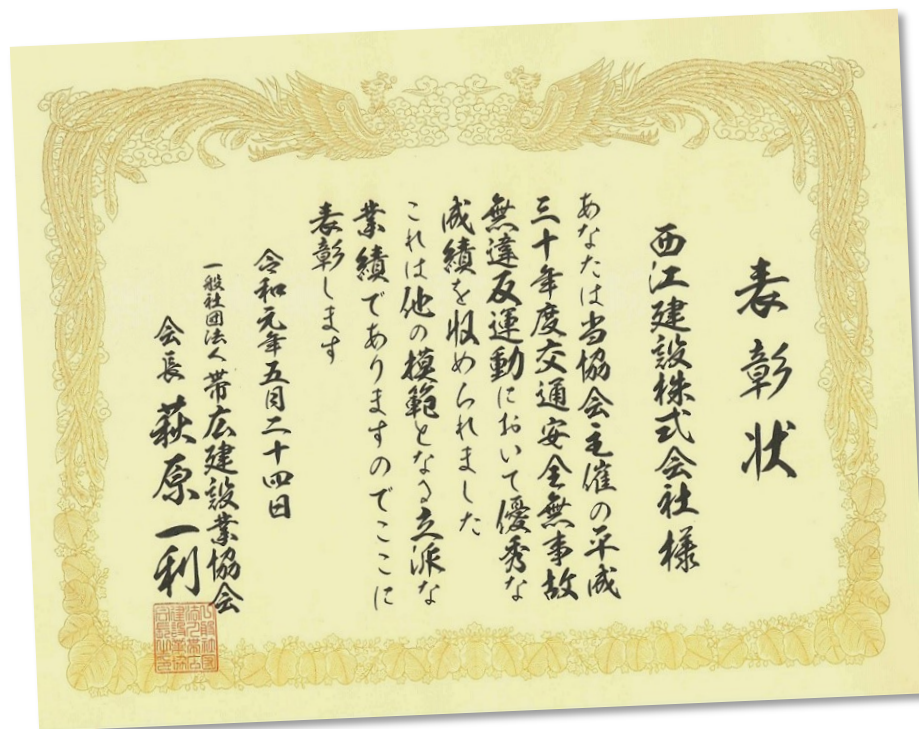


7年連続!

交通安全優良社表彰を受賞!

2019年5月24日、帯広建設業協会主催の「平成30年度交通安全優良社表彰式」が行われました。

これは、日頃より協会が推進する交通安全運動に積極的に取り組み、年間の交通違反点数が一定の水準をクリアした企業を表彰するものです。



西江建設は“無事故・無違反運動における優良企業”として賞状を頂きました。光栄なことに、今年で7年連続の受賞となります。

この成績を絶やさぬよう、今後とも社員全員で安全運転に努めてまいります。

Schedule



8月12日	振替休日のため 休業
8月13日－18日	夏季休業
9月16日	敬老の日のため 休業
9月23日	秋分の日のため 休業
10月14日	体育の日のため 休業
10月22日	即位礼正殿の儀のため 休業

編集後記



何事も初めてというのは緊張するもので、この西江通信第1号が皆様の目に触れることを考えると、楽しみでもあり少し怖くもあり…とてもドキドキしています。

今年の4月から入社した私にとって、初めての大仕事がこの西江通信です。手作り感を大切に、親しみを感じられるような紙面を作っていきたいと思っています。今度とも、どうぞよろしくお願いいたします!

石澤

次回の発行日は…10月31日



発行日 2019年7月31日発行 夏号[通巻1号]
発行元 西江建設株式会社(帯広市西4条北2丁目20番地)
編集者 西江建設株式会社 総務部 総務課

TEL (0155)25-9105
FAX (0155)23-9176

西江通信に関する皆様からのご意見
ご感想などお待ちしております!

m-ishizawa@nishie-co.jp

